

# 2001年11月19日 しし座流星群

そもそも流星は、地球に降り注ぐ「チリ」によって起こる現象です。  
「しし座流星群」の素となる微小なチリは、テンペル・タットル彗星から放出されたもので、このテンペル・タットル彗星のことを、しし座流星群の母彗星（ぼすいせい）と呼んでいます。母彗星の軌道上には、過去の接近で放出されたチリが拡散して分布しているために、母彗星の軌道に地球が接近するたびに、流星群が見られます。そして、母彗星の軌道と地球が接近するのが、毎年11月18～19日ごろとなります。2001年は、特にたくさんの流星が観測できました。

## 山梨県本栖湖にて 撮影：37期 小原



## 山梨県大平にて 撮影：4期 横倉



輻射点が分かります

